



成田市議会議員

鳥海なおき 市政報告

令和7年新春号

～ 強いまち誇れるまちの実現を目指して ～



地域の皆さまの声が市政に反映されるために

新年あけましておめでとうございます。
 皆さま方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。
 昨年1月1日に発生した「能登半島地震」から1年が経過しました。また、能登地方では9月には豪雨にも見舞われるなど厳しい状況が続いています。
 そして、災害関連死という、災害による直接的な被害ではなく、避難生活や医療体制の崩壊、持病の悪化など間接的な要因でお亡くなりになる方も増えているようです。生活再建や復興への取り組みが進むも依然として道半ばである状況にて犠牲、被災された皆様に対し、お悔やみとお見舞いを申し上げますと共に、早く被災地の復興をお祈り申し上げます。
 本市においても首都直下型地震が想定されているので、決して他人事ではありません。特に行政が取り組むべきこととして、1.「地域の防災組織づくりや住民への防災教育の推進」、2.「災害の被害を最小限に抑えるための自助と共助を促す取り組み」、3.「情報収集・伝達ができる仕組みの整備」、4.「避難所・施設の整備」は現在も取り組んでいるところでありますがさらなる推進をしていくよう提案しているところです。
 市議会議員として3期目11年目を迎えることとなります。皆さま方より、様々なご意見やご要望を日々いただきまして、ありがたく思うと同時に、まだまだ多くの課題が目の前にあることを実感しております。引き続き市民の代表としての立場を忘れずに、「強いまち」「誇れるまち」の実現を目指し市内全域、一人ひとりのお声を拝聴し市民に対する行政サービスの向上のための政策提言も含めて、引き続き積極的に活動してまいります。

令和6年9月定例会 鳥海なおき一般質問 ダイジェスト

(仮称)赤坂センター地区複合施設整備について



問 成田ニュータウンのシンボルであったセンタービルの跡地を市が取得してから、13年が経過した。用地取得時から現時点においても、複合施設の供用開始を早く実現してほしいという市民の思いは変わっていない。今後のスケジュールについて伺う。

市長答弁 令和7年度には、施設整備の考え方の骨格となる基本構想を、令和8年度には、施設内の配置や概算事業費などを取りまとめ、基本構想

で示した骨格に肉付けを行う基本計画を策定する予定である。成田ニュータウンは、成田空港の更なる機能強化に伴い増加が見込まれる空港関連企業の従業員の受け皿の役割も大きいと考えており、老朽化した団地の再生なども含めた住環境の再整備を図るとともに地域全体のにぎわいの創出や活性化が求められている。成田ニュータウンの再生に向け、複合施設の目指すべき姿でもある「成田ニュータウンの再生の核となる賑わいの拠点施設」という将来ビジョンを実現するため、整備に向けた取り組みを進めていく。

意見要望 今後の整備事業推進において、複合化の可能性がある市の担当部署が、どのように複合化していくのかをしっかりと問題意識を持って、業務効率、コストカット、一番は市民が望んでいる施設をつくるための共通認識をして、庁内横断的に本整備事業の準備を進めていただきたい。

そして、市長が何をどのように行っていくのかの政治的判断を行ってから、庁内の赤坂センター地区複合施設等整備推進委員会で今後協議を進めていくことが重要と考えている。

また、もう一つのポイントとしては、本市の今後の事業展開による財政状況の推移と予測により、どの事業手法を選択するののかもかなり重要であり、中央公民館と図書館は著しく老朽化しており、待ったなしの状況で、この目まぐるしく激動している経済状況に、市の行政運営が巻き込まれることをリスクとして強く感じていただいて、赤坂センター地区複合施設整備の早期建設着手を要望する。

地域の声が届いています！

皆さまのお声を聞かせてください！

【ゴミステーション整備】



【緑道の自転車通行規制表示】



【市有地 木伐採】



鳥海なおきプロフィール

■学歴 市立習志野高等学校 普通科卒業 吹奏楽部 部長
 英国国立ウエールズ大学経営大学院 (MBA) 卒業

■市議会 会派 政友クラブ 幹事長
 市議会所属委員会 建設水道常任委員会委員長
 空港対策特別委員会委員
 議会運営委員会委員

討議資料

詳細は議会だより、議会録画中継、成田市議会会議録を御覧ください。
成田市議会 <https://www.city.narita.chiba.jp/gikai/>

鳥海なおき SNS にて情報発信中

鳥海なおき

教えて なおき君!



なおき君

～ 成田市水道料金値上げ ～ 令和7年4月より改定

私が委員長を務める成田市議会建設水道常任委員会で「成田市水道事業」の水道料金20%値上げを議案審議し本会議で可決しました。

なお、成田市でも成田ニュータウン地区は千葉県営水道の給水区域であり、今回の成田市水道事業による料金値上げの影響はありませんが、新聞報道により令和8年度を目途として現行料金から20%上昇する料金改定が発表されている状況であります。

また、「成田市簡易水道事業」の水道料金は変更ありません。



なおき君

成田市の水道事業は料金をどうして値上げしなければならないの？



なおき君

水道事業は、独立採算制を原則とし、事業費を水道料金で賄うことと法律で定められています。本市の水道事業は昨今の物価高騰の影響や印旛広域水道事業からの受水量の増加（高い水を購入しているというイメージ）により令和2年度以降4期連続で赤字決算となっています。そして、利益積立金も使い果たし繰越欠損金が生じています。

今後給水収益の大幅な増収は見込めない一方、施設管路の老朽化対策などの新たな経費増加となり、令和9年度には資金残高が枯渇して事業継続ができなくなる見込みであることから、将来にわたり、持続的、健全に水道事業を経営していくために料金を改定することになりました。

なお、水道を利用する皆さまの負担を軽減するため、一般会計からの財政支援により、改定率を下げています。

水道事業の独立採算制ってどういうことなの？



なおき君

経営に必要な費用は、お客さまからいただく水道料金収入でまかなわれています。

水道事業の経営は『独立採算制』です

水道事業はみなさんからお支払いいただく水道料金でまわっているんだよ。



※八尾市ホームページより引用

成田市周辺の水道事業体の水道料金は、どうなっているの？



なおき君

成田市の現行の水道料金は、成田ニュータウン地区が給水を受けている県営水道料金と同等の金額となっていますが、来年度より20%改定後で周辺自治体の水道料金比較は表Aの通りとなっています。

印旛管内水道事業体との水道料金比較（口径20mmで2ヶ月4.0m使用した場合）

順位	事業体	(円)
	成田市(20%改定後)	9,188
1	八尾市	8,660
2	富津市	8,580
2	印西市	8,580
4	白井市	8,392
5	前門川水道企業団	8,360
	成田市(20%改定前)	7,964
7	松戸市	7,540
8	習志野市	7,414
9	流山町	7,380
10	流山市(現行)	6,444
	印旛管内(平均)	6,083
	千葉県	6,500

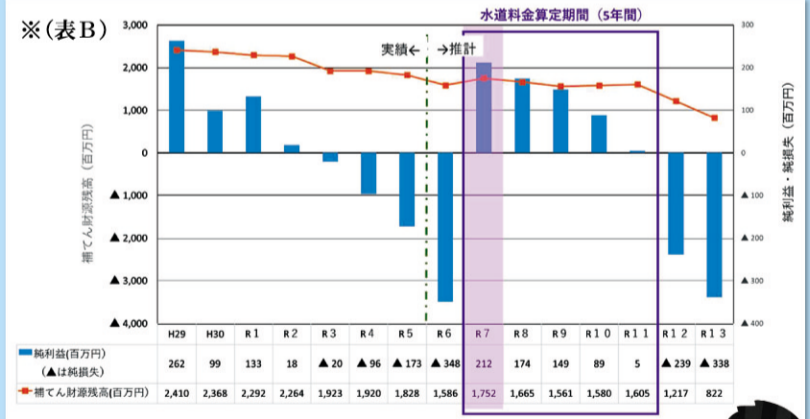
※(表A)

4月に料金改定後の成田市水道事業の財政収支はどうなるの？



なおき君

表Bを見てもらうと、料金改定を実施した場合、収益的収支は令和7年度に黒字に転じ、令和11年度まで黒字を維持できる見込みです。



なおき君が思うこと

なおき君は今後の水道事業の課題をどのように考えているの？



事業収支表Bをご覧になったとおり、今回の料金改定後については、令和11年度までの事業体の利益体質が維持できるものの、令和12年度には、また赤字に転落し水道料金を上げなければならない可能性が高いことを示しております。

人が生きるために一番必要な水道事業の独立採算の考え方は、昨今の日本の少子高齢化や今後の老朽化した施設整備更新等など莫大な経費がかかってくることを考えると水道事業会計の構造的な問題を国レベルで検討する必要があるのかなと感じています。

そのうえで、市としての事業体への公費導入、すなわち成田市の特別会計である水道事業への一般会計繰入金額の考え方によって、市民が負担する水道料金が上がるのか、下がるのかということになるものと考えております。

今回の成田市水道事業だけでなく、今後簡易水道事業に関しても、料金改定の議論がなされると思われませんが、基本的な私の考え方は可能な限り公費導入を図るべきだと考えております。そうすることで、清浄で低廉な水の安定的供給を実現することが出来、公共の福祉を増進させていくことにつながります。

今回の水道料金の改定については、千葉県及び近隣市町村との水道料金のバランス、事業体の財政状況を鑑み、料金改定には賛同しましたが、中長期的な課題として、引き続き市の執行部と協議し提言していきたいと思っております。

※(表A・表B) 成田市水道部2024年12月9日建設水道常任委員会資料より